

---

## ■ JXホールディングス(5020) 2013年3月期 決算 アナリスト説明会 Q&A

---

1. 日 時 : 5月9日(木)16:00-17:30
2. 出席者数 : 142名
3. 主な質疑内容:

－ 本資料には、将来見通しに関する記述が含まれています。巻末に注意事項を記載しています。－

### Q. 13年度見通しの減価償却費と設備投資額は？

A. 減価償却費は1,880億円、設備投資は5,600億円を予定。

### Q. エネルギー事業13年度見通し(P26)「マージン他+39億円」の内訳は？

A. 石油製品マージンの改善および12年度に発生した製油所停止影響の反転といったプラス要素がある一方、円安に伴う自家使用燃料代増加や安定操業確立のための補修費増加などを見込んでいる。

### Q. 石油・天然ガス開発事業13年度見通し(P27)「経費・為替他+10億円」の内訳は？

A. +150億円程度の円安効果がある一方、操業費・償却費・探鉱費などの経費増加を見込んでいる。

### Q. カセロネスの立ち上がりは順調か？今年度以降どの程度の利益貢献を見込むか？

A. 立ち上がりは順調で、本年3月よりSX-EW法による電気銅の採取を開始し、10-12月期には銅精鉱の生産が始まる。13年度は銅精鉱の売上を見込んでいないので収益貢献は限定的だが、14年度以降本格的となり、15年度には400億円程度の経常利益を見込む。

以 上

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
- (2) 法律の改正や規制の強化、
- (3) 訴訟等のリスク など

が含まれますが、これらに限定されるものではありません。